

成果報告「防災教育開発機構」

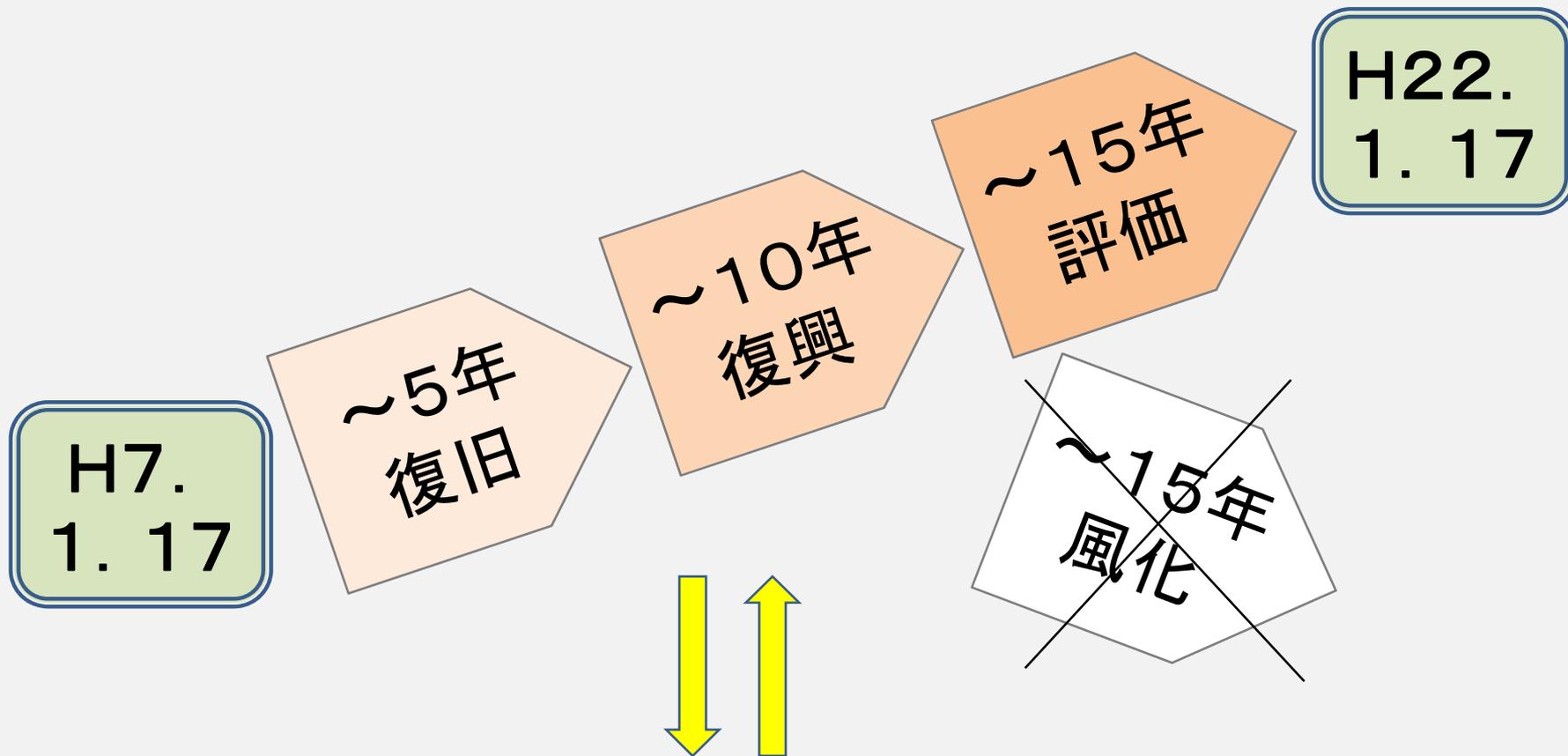


防災教育開発機構 事業代表

人と防災未来センター 副センター長

山本 健一

阪神・淡路大震災から15年目



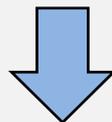
防災教育:「**命、助け合い、思いやり**」の大切さを伝える

事業関係機関

【防災教育開発機構】

兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
神戸学院大学、兵庫県立舞子高等学校、
人と防災未来センター

神戸海洋気象台、兵庫県防災企画局、
神戸市危機管理室、神戸市消防局



研究機関、教育機関、報道機関、国際機関、
企業、NPO、地域団体、保護者 等

事業の内容

1. 科学技術を活用した教材作成

「防災教育事例の分類と新たな教材づくり」

「GISを活用したハザードマップ作成授業」

2. 教員研修プログラムの開発

「新たな防災教育研修プログラムの開発」

3. 教育プログラムの開発

「神戸市内の小学校でのモデル的実践」

「KOBE防災教育ハンドブック(仮称)の作成」

4. 地域に応じた先進的取組

「兵庫の特性を生かした取組:ユース震災語り部等」

防災教育事例の分類と新たな教材づくり

兵庫県内外の防災教育専門家・団体との検討

新たな分類による既存教材の整理

既存の分類項目（災害の種類、教材形式等）に加え、「どのような力を養うための教材か」という項目からの分類。

緊急地震速報の理解・適切な判断のための教材作成

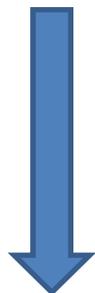
家庭、学校、スーパーで、どう対応すべきか、危険箇所はどこか、ディスカッションし学ぶ。

（ワークシート・カード式教材＋指導書）

GISを活用したハザードマップ活用授業

高校生によるモデル授業の実施

GISで重ね合わせ



- ・まち歩きで調べた地理情報(崖崩れ、消火栓 等)
- ・自然特性データ(地震・洪水の危険性 等)
- ・社会特性データ(高齢者居住分布 等)

「地域の災害危険度」と「防災対策」の検討

- ・まち歩きをして、また、データを重ねて気づいたこと
- ・防災上の地域の問題点
- ・コンピュータの防災マップと紙の防災マップの比較

無料データ、無料ソフトを活用 → **全国展開が可能**

新たな防災教育研修プログラムの開発

防災教育研修プログラム検討委員会

目的

「震災・学校支援チーム(EARTH)の訓練・研修」
「防災教育推進指導員養成講座」
の内容充実・改善により、
全国の防災教育に資する教職員研修プログラム作成。

構成

有識者(防災教育開発機構メンバー)、EARTH員、
兵庫県教育委員会事務局【計12人で年4回開催】

新たな防災教育研修プログラムの開発

防災教育推進指導員養成講座プログラム

3段階のプログラム

【初級編】 各学校での防災教育担当としての最低限の役割を担うことができる

【中級編】 防災教育の実践力を養うとともに、各学校で防災教育を推進することができる

【上級編】 防災教育の専門的知識を学び、県内外の講師として派遣できる

多様な項目

危機管理、防災訓練、教材開発、災害ボランティア、心のケア : 各項目、達成すべき目標(=養う力)の明確化

KOBE防災ハンドブック(仮称)の作成

新たな防災教育の実践と課題

神戸市だけでなく他地域でも参考となる課題・対応策の提示

(記載内容例)

- ・改善された防災マニュアルと防災カリキュラム
- ・神戸市防災教育担当者研修会と校内防災研修
- ・副読本や自主教材を活用した防災学習
- ・工夫を重ねる防災訓練と震災祈念集会
- ・風水害や津波・高潮などの防災課題への取組
- ・関係機関と連携した取組と学校独自の交流活動
- ・校種別の成果と課題・新たな目標設定

神戸市内の小学校でのモデル的実践

神戸市消防局のモデル12小学校での取組

消防が学校(教職員、児童)と地域を結ぶ

【多様なプログラム】

- : 訓練(毛布担架搬送、バケツリレー、水消火器、救急講習等)
- : 学習(防災〇×クイズ、防災すごろく、校内防災探検、地震体験車、煙体験、DVD鑑賞等)

兵庫の特性を生かした取組



兵庫の特性を生かした取組

「ユース震災語り部」事業の様々な成果

DVD教材の活用

- ・神戸市立の学校の授業での活用
- ・人と防災未来センターで常時、語りの上映

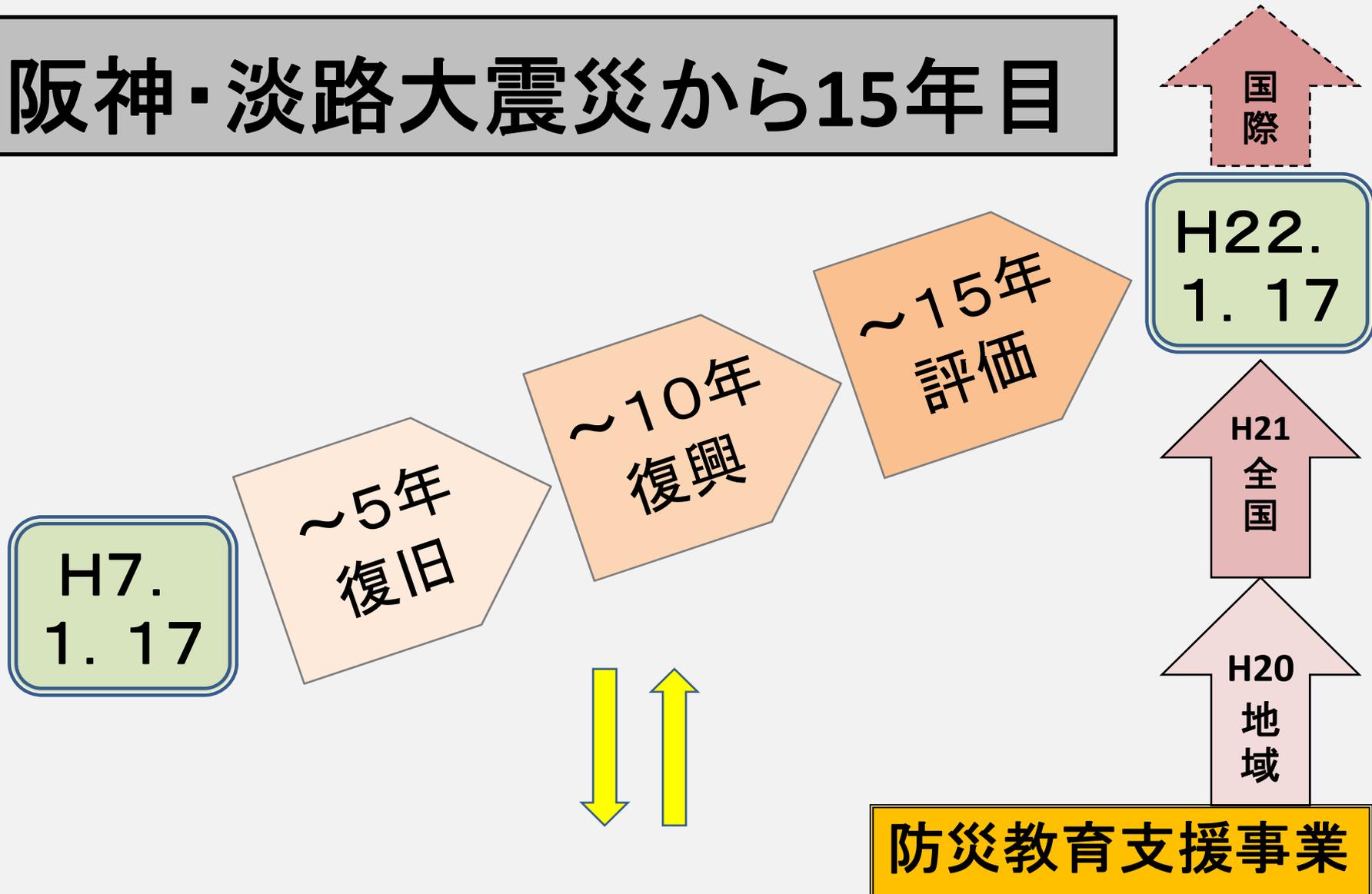
語り部本人の活躍

- ・語り部による小学校での授業、交流会開催の企画

更なる展開

- ・「震災を直接経験していない子供たちにも体験を語り継ぐ方法の確立」→ 災害メモリアルKOBE(2009.1.10)
- ・教職員・高校生がDVDを活用した授業プログラムの検討
→ **全国に通用するプログラムを開発予定**

阪神・淡路大震災から15年目



防災教育:「**命、助け合い、思いやり**」の大切さを伝える